

福島労働局からのお知らせ

I イベント・行事

1 労働基準部

全国安全週間

担当：健康安全課 空閑（電話：024-536-4603）

7月1日から7月7日の1週間は「全国安全週間」(※)です。また6月はその準備期間です。

- 今年度のスローガンは
「安全は 急がず焦らず怠らず」
です。

- 福島労働局では、労働局長よる安全パトロールなど、様々な取組を行う予定です。

(※) 今年度で95回目となる全国安全週間は、労働災害を防止するために産業界での自主的な活動の推進と、職場での安全に対する意識を高め、安全を維持する活動の定着を目的としています。

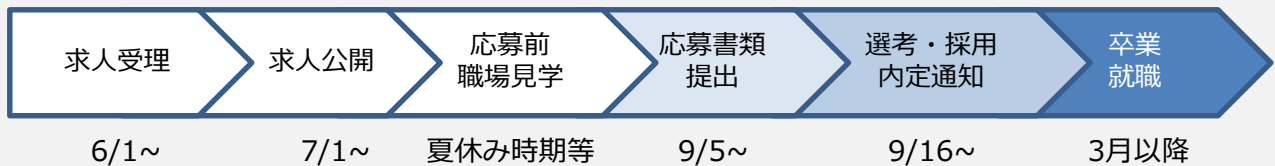
2 職業安定部

1. 令和5年3月新規高等学校卒業予定者の求人受付が開始されます 担当：職業安定課 武田 電話：024-529-5396

令和5年3月新規高等学校卒業予定者にかかる求人の受付が、6月1日より県内のハローワークにおいて開始されます。

できるだけ早い時期から生徒が就職先を検討できるよう、企業の皆様には求人の早期提出をお願いしております。

●令和5年3月新規高等学校卒業予定者の就職活動スケジュール



2. 人材開発支援助成金に「人への投資促進コース」が新たに創設されました

担当：職業対策課 松本・須藤 電話：024-529-5409

資料No 1

「人材開発支援助成金」は、事業主が労働者に対して訓練を実施した場合に、訓練経費や訓練期間中の賃金の一部を助成する制度です。

従来からのコースに加え、今年度から、国民の皆さまのアイデアをもとに「人への投資促進コース」を新設しました。

高度デジタル人材の育成のための訓練や、IT分野未経験者の即戦力化のための訓練等に対して助成します。

例えば、IT分野未経験の従業員に対して、OFF-JTとOJTを組み合わせた訓練を行った場合、訓練経費の60%の他、賃金の一部などが助成されます。

さらに、定額制(サブスク型研修サービス)の訓練も対象とした他、すべての訓練コースにおいて、オンライン研修(eラーニング)と通信制による訓練も対象としています。

■詳細はこちらのQRコードからパンフレット(詳細版)をご覧ください。



3. すまい・生活・しごと総合サポート（ハローワーク・ワンストップ窓口） の設置について

担当：訓練室 管家 電話：024-536-7733

資料No 2

「原油価格・物価高騰等総合緊急対策」を踏まえ、県内のすべてのハローワークに「すまい・生活・しごと総合サポート（ハローワーク・ワンストップ窓口）」を新たに設置しました。

◇設置時期 令和4年5月2日（火）より

◇業務内容 物価高騰等による生活困窮者等に対して、職業訓練を活用した就労支援及び住居・生活支援制度の利用支援等を一元的に実施。

1 労働基準部

1. 県内労働災害発生状況

担当：健康安全課 空閑 電話：024-536-4603

令和4年(4月)の災害発生状況を取りまとめました。

年 別 業 種		令和4年		令和3年		対 前 年 (死 傷 者)	
		死傷者	うち 死亡者	死傷者	うち 死亡者	増減数	増減率 (%)
全 業 種 合 計		811	7	753	5	58	7.7
製 造 業		165	2	144	1	21	14.6
鉱 業		2	0	3	0	-1	-33.3
建 設 業		144	2	105	2	39	37.1
運 輸 交 通 業		90	1	72	0	18	25.0
貨 物 取 扱 業		6	0	3	0	3	100.0
農 林 業		11	0	20	1	-9	-45.0
畜 産 ・ 水 産 業		6	0	5	0	1	20.0
上 記 以 外 の 事 業 小 計		387	2	401	1	-14	-3.5
商 業		104	0	110	0	-6	-5.5
金 融 広 告 業		3	1	5	0	-2	-40.0
保 健 衛 生 業		156	0	172	0	-16	-9.3
接 客 娛 楽 業		37	0	44	0	-7	-15.9
清 掃 ・ と 畜 業		30	0	31	0	-1	-3.2
上 記 以 外 の 事 業		57	1	39	1	18	46.2

(注) 労働者死傷病報告(休業4日以上)による。

2. 職場における熱中症予防対策の徹底について要請

担当：健康安全課 空閑 電話：024-536-4603

資料No 3

職場における熱中症予防対策の徹底について要請しました。

- 福島県内の熱中症による労働災害は、死傷者数は9人で前年比11人減少しましたが、死亡者数は1人と、2年連続で死亡災害が発生しました。
- 福島労働局では、本日、福島県内の労使団体及び建設工事を発注している行政機関に対し、労働者の熱中症予防対策の徹底について要請を行いました。
- 富岡労働基準監督署では、本日、東京電力ホールディングス株式会社福島第一廃炉推進カンパニー及び廃炉作業の元請事業者に対し、労働者の熱中症予防対策の徹底について要請を行いました。
- 福島労働局及び各労働基準監督署では、あらゆる機会を捉え、熱中症予防対策の徹底を図ってまいります。
- 詳細は、別添の公表資料をご参照ください。

【熱中症予防のポイント】

- 喉の渇きにかかわらず水分・塩分を摂取すること
- こまめに休憩をとること
- 暑さに慣れる期間を設定すること(1週間程度かけて徐々に身体を慣らすこと)
- 労働者の異変を認めたときは医療機関に搬送すること

2 職業安定部

令和4年3月新規大学等卒業者の就職内定状況について

担当：職業安定課 武田 電話：024-529-5396

資料No 4

令和4年3月末現在の状況をとりました。

◎ 大学等計	96.6%	(前年同期比	0.5ポイント減)
○ 大学	96.0%	(同	1.8ポイント減)
○ 短期大学	97.6%	(同	1.0ポイント減)
○ 高等専門学校	100.0%	(同	同数値)
○ 専修学校	96.8%	(同	2.6ポイント増)

デジタル分野などの社員教育に 人材開発支援助成金をご活用ください

国民の皆さまのアイデアをもとに「人への投資促進コース」を創設

「人への投資促進コース」の助成メニュー

IT分野未経験

ITやデジタル分野で即戦力となる人材を育成したい

情報技術分野（IT分野）認定実習併用職業訓練【新設】

IT分野未経験者を即戦力化するための訓練を実施する事業主への高率助成。

IT
未経験者
OK!

デジタル／成長分野

高度デジタル人材・高度人材を育成したい

高度デジタル人材訓練／成長分野等人材訓練【新設】

高度デジタル人材を育成するための訓練や、大学院での高度な訓練を行う事業主への高率助成。

サブスクリプション

オンラインの定額受け放題サービスで効率的に訓練を受けさせたい

定額制訓練【新設】

サブスクリプション型の研修サービスによる訓練への助成。

自発的能力開発

労働者の自発的な学び直しの費用を支援したい

自発的職業能力開発訓練【新設】

労働者が自発的に受講した訓練費用を負担する事業主への助成。

教育訓練休暇

労働者の自発的な学び直しのための時間を確保したい

長期教育訓練休暇制度／短時間勤務等制度【拡充】

働きながら訓練を受講するための休暇制度や短時間勤務等制度を導入する事業主への助成。

- ・「人への投資促進コース」の他にも、訓練対象者（正規雇用労働者や非正規雇用労働者）にあわせて、助成メニューをご用意しています。
- ・すべての訓練コースでオンライン（eラーニング）による訓練も対象としています。
- ・詳しくは、ウェブサイトをご覧ください。お近くの労働局へお問い合わせください。

人材開発支援助成金

検索



活用例は裏面へ

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/koyou_roudou/koyou/kyufukin/d01-1.html



ひと、くらし、みらいのために
厚生労働省
Ministry of Health, Labour and Welfare

都道府県労働局・ハローワーク

LL040428開企01

「人への投資促進コース」の活用例

IT分野未経験者にIT関連の訓練を行った場合

資格試験料も助成の対象です！

課題

IT未経験の従業員にも、ITの内容を覚えてもらい、**即戦力として働いてほしい！**



事業主

訓練

- 訓練コース プログラミング（1名）
- 訓練内容
スマート端末上の開発に必要なプログラミング言語の習得等、OJTで実際に発注を受けたシステムの構築。
OFF-JT時間：800時間 訓練経費：**70万円**
OJT時間：200時間
- ITSSレベル2に相当する資格試験の受験
訓練経費：**5万円**

助成金を活用

助成内容（中小企業の場合）・成果

- 助成率・額
経費助成：**60%**
賃金助成：**1時間あたり760円**
OJT実施助成：**200,000円**
- 助成額（左記の訓練内容の場合の例）
経費助成：450,000円（資格試験料を含む）
賃金助成：608,000円
OJT実施助成：200,000円
- 成果
IT未経験者にも、基本的な言語の習得や、実際に顧客から発注を受けたシステムの構築を、自社の従業員から丁寧にレクチャー。
未経験者から一人前のSEに成長させることができた。
高額で手が出せない資格も、助成金があることで、取得させることができた。



高度なデジタル分野の訓練を行った場合

他のコースより高い
助成率・助成額で支援します！

課題

高度なデジタル分野の資格を取ってもらい、**核となる人材として働いてほしい！**



事業主

訓練

- 訓練コース
プロジェクトマネージャ試験対策講座（1名）
- 訓練内容
プロジェクトマネージャ試験対策のための訓練。
訓練時間：30時間 訓練経費：**20万円**
- ITSSレベル4に相当する資格試験の受験
訓練経費：**8万円**

助成金を活用

助成内容（中小企業の場合）・成果

- 助成率・額
経費助成：**75%**
賃金助成：**1時間あたり960円**
- 助成額（左記の訓練内容の場合の例）
経費助成：210,000円（資格試験料を含む）
賃金助成：28,800円
- 成果
資格を取得して専門的な知識を身につけることで、**管理職として活躍してもらうことができた。**
高度な資格を保持していることが会社の**アピールポイント**にもなっている。



サブスクリプション型の研修サービスで訓練を行った場合

課題

様々なコンテンツの中から、従業員1人ひとりに合った訓練を行い、**知識を深めてほしい！**



事業主

訓練

- 訓練コース 営業職研修受け放題講座（40名）
- 訓練内容
新入社員から管理職までの幅広い層に対応した営業職に関するeラーニング訓練。
訓練経費：**42万円**
（1名～50名まで1か月3.5万円×12月の料金）

助成金を活用

助成内容（中小企業の場合）・成果

- 助成率・額
経費助成：**45%**
- 助成額（左記の訓練内容の場合の例）
経費助成：189,000円
- 成果
1つの訓練契約で幅広い層に訓練を行うことができ、**企業全体の生産性向上に繋がった。**



お住まいや生活に関するご相談を
お考えの皆さまへ



すまい・生活・しごとに関する 総合サポート窓口のご案内

ハローワークでは、離職などによりお住まいを喪失するおそれのある方や、
生活に不安を抱える方のご相談のための窓口を設置しています。

ご相談内容の例

1

家賃が支払えない、住むところがない…
当面の生活資金がない…



**自治体の住居確保給付金や生活資金の
貸付制度、食糧支援情報などをご紹介します※**

2

すぐに新しい仕事を見つけられるか不安…



月10万円の生活支援の給付金と無料の職業訓
練の受講ができる制度のご案内や、ご希望に応
じた職業相談窓口などをご案内します

3

その他、ご不安やご希望に
きめ細かく応じた相談対応を行います



※ 住居・生活支援に関する申請手続などは自治体で行うこととなります。
また、制度の要件に該当しない場合などは対象とならないことにご留意ください。

問い合わせ

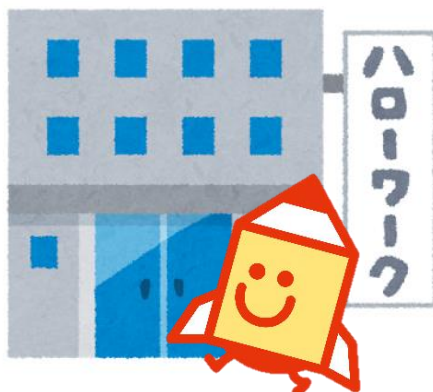
くわしい内容については、総合受付または「すまい・生活・しごと総合サ
ポート」窓口にお問い合わせください。



福島労働局職業安定部

【 ハローワーク（公共職業安定所）一覧 】

ハローワーク名		所在地	電話番号	管轄区域
中通り地方	福島	福島市狐塚17-40	024-534-4121	福島市、伊達市、伊達郡
	二本松	二本松市若宮2-162-5	0243-23-0343	二本松市、本宮市、安達郡
	郡山	郡山市方八町2-1-26	024-942-8609	郡山市、田村市、田村郡
	須賀川	須賀川市妙見121-1	0248-76-8609	須賀川市、石川郡、岩瀬郡
	白河	白河市字郭内1-136 白河小峰城合同庁舎	0248-24-1256	白河市、西白河郡、東白川郡
会津地方	喜多方	喜多方市字千苺8374	0241-22-4111	喜多方市、耶麻郡 (磐梯町、猪苗代町を除く)
	会津若松	会津若松市西栄町2-23	0242-26-3333	会津若松市、河沼郡、大沼郡 耶麻郡のうち磐梯町、猪苗代町
	南会津	南会津郡南会津町田島字行司12	0241-62-1101	南会津郡
浜通り地方	相馬	相馬市中村1-12-1	0244-36-0211	相馬市、新地町
	相双	南相馬市原町区桜井町1-127	0244-24-3531	南相馬市、飯館村
	富岡	双葉郡富岡町大字小浜字大膳町109-1	0240-22-3121	双葉郡
	いわき	いわき市平字堂根町4-11 いわき地方合同庁舎	0246-23-1421	いわき市(小名浜所、勿来所の管轄区域を除く)
	小名浜	いわき市小名浜大原字六反田65-3	0246-54-6666	いわき市のうち江名、折戸、中之作、永崎、小名浜、鹿島町、泉町、渡辺町、洋向台、泉ヶ丘、泉玉露、湘南台、葉山
	勿来	いわき市東田町1-28-3	0246-63-3171	いわき市のうち旧勿来市、旧遠野町、旧田人町





厚生労働省福島労働局発表
令和 4 年 5 月 31 日

担 当	福島労働局 労働基準部 健康安全課長 田中暁雄 安全衛生係長 千葉光平 電 話 024-536-4603 (直通)
	富岡労働基準監督署 監督・安衛課長 関口和也 電 話 0240-22-3003

職場における熱中症予防対策の徹底について要請

令和 3 年の熱中症による労働災害発生状況については、全国では、休業 4 日以上之死傷者数（以下「死傷者数」という。）は 547 人、死亡者数は 20 人（死傷者数、死亡者数ともに令和 4 年 1 月 14 日時点速報値）となり、過去 3 年の状況と比較すると、死傷者数、死亡者数ともいずれの年より下回りました。一方、過去 10 年間の発生状況をみると、直近 3 か年における死傷者数は、過去 10 年間の 36.6% を占めています。

また、福島県内の熱中症による労働災害につきましては、死傷者数は 9 人で前年比 11 人減少しましたが、死亡者数は 1 人と、2 年連続で死亡災害が発生しました。

このような状況を踏まえ、福島労働局（局長 河西 直人）では、福島県内の労使団体及び建設工事を発注している行政機関に対し、労働者の熱中症予防対策の徹底について要請を行うとともに、富岡労働基準監督署（署長 寺嶋 徹之）では、東京電力ホールディングス株式会社福島第一廃炉推進カンパニー及び廃炉作業の元請事業者に対し、労働者の熱中症予防対策の徹底について要請を行いました。

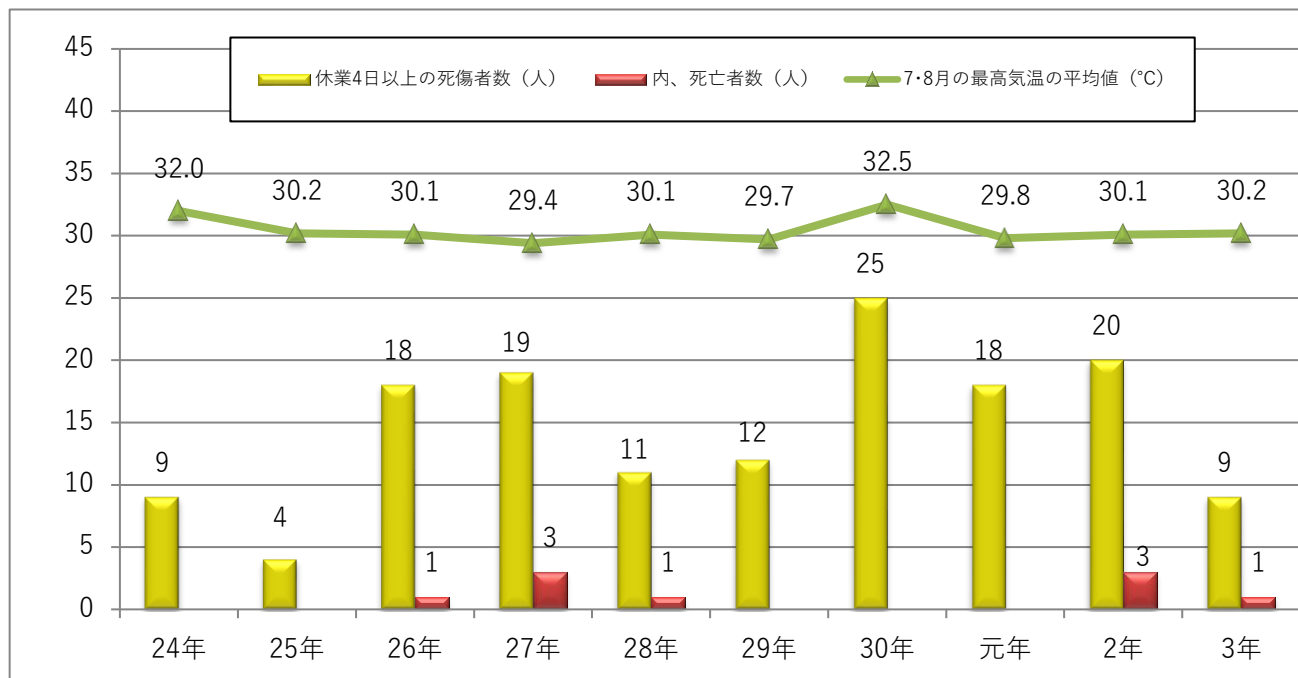
福島労働局及び各労働基準監督署では、あらゆる機会を捉え、熱中症予防対策の徹底を図ってまいります。

【熱中症予防のポイント】

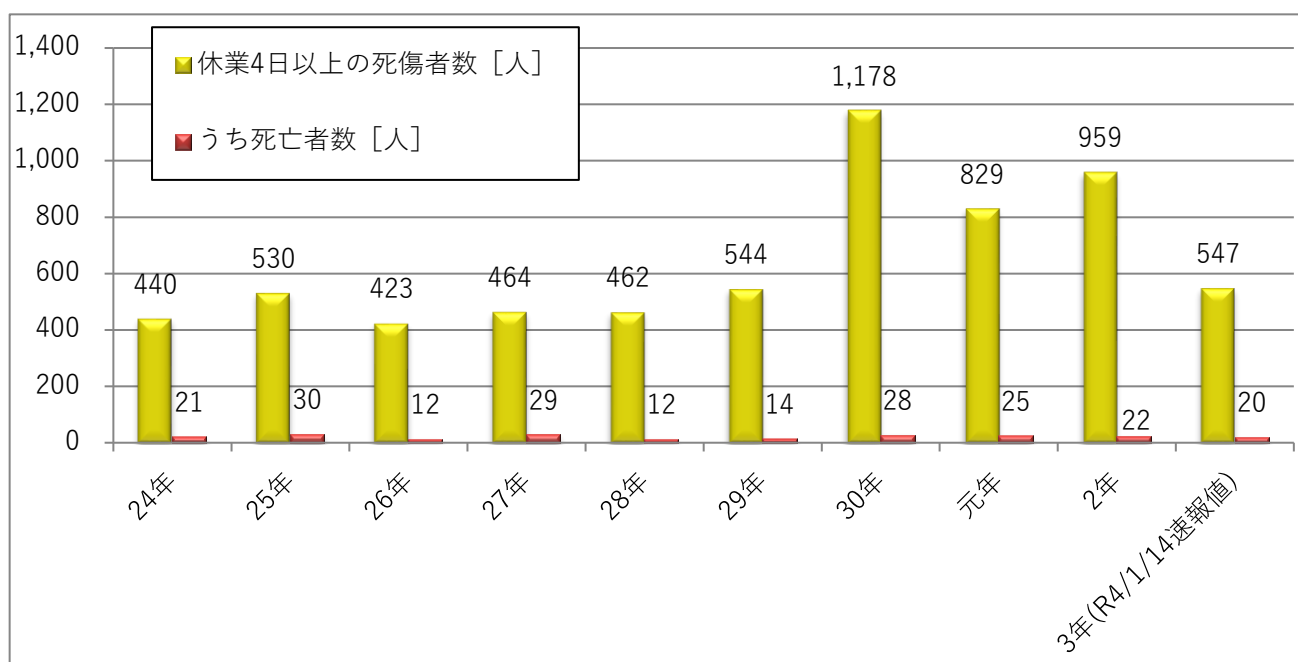
- 喉の渇きにかかわらず水分・塩分を摂取すること
- こまめに休憩をとること
- 暑さに慣れる期間を設定すること（1 週間程度かけて徐々に身体を慣らすこと）
- 労働者の異変を認めたときは医療機関に搬送すること

熱中症による労働災害発生状況

1 福島県内



2 全国



身体作業強度等に応じたWBGT基準値

区分	身体作業強度(代謝率レベル)の例	WBGT基準値	
		暑熱順化者のWBGT基準値 ℃	暑熱非順化者のWBGT基準値 ℃
0 安静	◆安静◆楽な座位	33	32
1 低代謝率	◆軽い手作業(書く、タイピング、描く、縫う、簿記) ◆手及び腕の作業(小さいペンチツール、点検、組立て又は軽い材料の区分け) ◆腕及び脚の作業(通常の状態での乗り物の運転、フットスイッチ及びペダルの操作) ◆立位でドリル作業(小さい部品)◆フライス盤(小さい部品) ◆コイル巻き◆小さい電機子巻き◆小さい力で駆動する機械 ◆2.5km/h以下での平坦な場所での歩き	30	29
2 中程度代謝率	◆継続的な手及び腕の作業(くぎ打ち、盛土) ◆腕及び脚の作業(トラックのオフロード運転、トラクター及び建設車両) ◆腕と胴体の作業(空気圧ハンマーでの作業、トラクター組立て、しっくい塗り、中くらいの重さの材料を断続的に持つ作業、草むしり、除草、果物及び野菜の収穫) ◆軽量の荷車及び手押し車を押したり引いたりする ◆2.5km/h～5.5km/hでの平坦な場所での歩き◆鍛造	28	26
3 高代謝率	◆強度の腕及び胴体の作業◆重量物の運搬 ◆ショベル作業◆ハンマー作業◆のこぎり作業 ◆硬い木へのかんな掛け又はのみ作業 ◆草刈り◆掘る◆5.5km/h～7km/hでの平坦な場所での歩き ◆重量物の荷車及び手押し車を押したり引いたりする ◆鋳物を削る◆コンクリートブロックを積む	26	23
4 極高代謝率	◆最大速度の速さでのとても激しい活動◆おのを振るう ◆激しくシャベルを使ったり掘ったりする ◆階段を昇る◆平坦な場所で走る ◆7km/h以上で平坦な場所を歩く	25	20

注1 日本産業規格 JIS Z 8504(熱環境の人間工学—WBGT(湿球黒球温度)指数に基づく作業者の熱ストレスの評価—暑熱環境)附属書A「WBGT熱ストレス指数の基準値」を基に、同表に示す代謝率レベルを具体的な例に置き換えて作成したもの。

注2 暑熱順化者とは、「評価期間の少なくとも1週間以前から同様の全労働期間、高温作業条件(又は類似若しくはそれ以上の極端な条件)にばく露された人」をいう。

注3 (参考)休憩時間の目安※:暑熱順化した作業において、WBGT基準値～1℃程度超過しているときには1時間当たり15分以上の休憩、2℃程度超過しているときには30分以上の休憩、3℃程度超過しているときには45分以上の休憩、それ以上超過しているときには作業中止が望ましい。暑熱順化していない作業においては、上記よりも長い時間の休憩等が望ましい。

※身体を冷却する服の着用をしていない等、特段の熱中症予防対策を講じていない場合。

(出典)米国産業衛生専門家会議(ACGIH)の許容限界値(TLV)を元に算出。



福島労働局 労働基準部 健康安全課
TEL 024-536-4603



詳しくは、厚生労働省ホームページ「熱中症関連情報」をご覧ください。

厚生労働省 熱中症

検索

令和3年は死亡災害1件発生

熱中症を防ごう!

- 福島県内の令和3年の熱中症による労働災害については、休業4日以上死傷者数は9人、うち死者数は1人(令和2年は3人)と、2年連続で死亡災害が発生しています。
- 厚生労働省では、「STOP!熱中症 クールワークキャンペーン」を展開し、職場での熱中症予防のための重点的な取組を進めています。
- 熱中症を予防するため、**
 - ①初期症状の把握から緊急時の対応までの体制整備
 - ②暑熱順化が不足していると考えられる者の事前把握及びきめ細やかな対応の実施
 - ③WBGT 値の把握及び測定結果に応じた適切な対策の実施
 などに取り組みましょう。

熱中症とは 高温の環境下で体温調節や循環機能などの働きに障害が起こる病気です。

熱中症の症状と分類		
分類	症 状	重症度
I 度	●めまい・生あくび・失神 「立ちくらみ」という状態で、脳への血流が瞬間的に不十分になったことを示し、「熱失神」と呼ぶこともある。 ●筋肉痛・筋肉の硬直 筋肉の「こむら返り」のことで、その部分の痛みを伴う。発汗に伴う塩分(ナトリウム等)の欠乏により生じる。これを「熱痙攣」と呼ぶこともある。 ●大量の発汗	小 大
II 度	●頭痛・気分の不快・吐き気・嘔吐・倦怠感・虚脱感 体がぐったりする、力が入らないなどがあり、従来から「熱疲労」といわれていた状態である。 ●集中力や判断力の低下	
III 度	●意識障害・痙攣・手足の運動障害 呼びかけや刺激への反応がおかしい、体がガクガクと引きつげがある、真直ぐに走れない・歩けないなど。 ●高体温 体に触ると熱いという感触がある。従来から「熱射病」や「重度の日射病」と言われていたものがこれに相当する。	

熱中症死亡災害発生事例

番 号	発生月	業 種	被災者	発生状況
1	8月	警備業	男 40歳代	工事現場の警備員として道路上で交通誘導業務を行っていたところ、路肩の法面の下にある側溝に転落し倒れているところを発見され、直ちに救急搬送されたが熱中症により死亡した。 なお、被災者は当該作業に従事し始めて2日目であった。 (気温 32.9℃ WBGT値 31.9℃)

STOP!熱中症

令和4年 5月～9月

クールワークキャンペーン

— 熱中症予防対策の徹底を図ろう —

事業者、労働者の皆さまご協力のもと、熱中症予防に取り組みましょう！

事業場では、期間ごとの実施事項に重点的に取り組んでください。

実施期間：令和4年5月1日から9月30日まで（準備期間4月、重点取組期間7月）

重点取組期間



確実に実施できているかを確認し、□にチェックを入れましょう！

準備期間（4月1日～4月30日）

☐	WBGT値の把握の準備	JIS 規格「JIS B 7922」に適合したWBGT指数計を準備しましょう。	
☐	作業計画の策定など	WBGT値に応じて、作業の中止、休憩時間の確保などができるよう 余裕を持った作業計画 をたてましょう。	
☐	設備対策・休憩場所の確保の検討	簡易な屋根の設置、通風または冷房設備やミストシャワーなどの設置により、 WBGT値を下げる方法 を検討しましょう。また、作業場所の近くに 冷房 を備えた休憩場所や 日陰 などの涼しい休憩場所を確保しましょう。	
☐	服装などの検討	通気性の良い作業着 を準備しておきましょう。 身体を冷却する機能をもつ服 の着用も検討しましょう。	
☐	教育研修の実施	熱中症の防止対策について、 教育 を行いましょう。	
☐	労働衛生管理体制の確立	衛生管理者 などを中心に、事業場としての 管理体制 を整え、必要なら 熱中症予防管理者の選任 も行いましょう。	
☐	発症時・緊急時の措置の確認と周知	体調不良時の休憩場所や状態の把握、悪化時に搬送する病院や緊急時の対応について確認を行い、周知しましょう。	

WBGT値の把握は、日本産業規格に適合したWBGT指数計による随時把握を基本としてください。その地域を代表する一般的なWBGT値を参考とすることは有効ではありますが、個々の作業場所や作業ごとの状況は反映されていないことに留意してください。特に、直射日光下における作業、炬等の熱源の近くでの作業、冷房設備がなく風通しの悪い屋内における作業については、実測することが必要です。

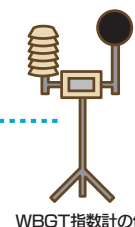
地域を代表する一般的なWBGT値の参照：環境省熱中症予防情報サイト <https://www.wbgt.env.go.jp>

キャンペーン期間（5月1日～9月30日）

STEP 1

□ WBGT値の把握

JIS 規格に適合したWBGT指数計でWBGT値を測りましょう。



WBGT指数計の例

STEP 2

準備期間中に検討した事項を確実に実施するとともに、測定したWBGT値に応じて次の対策を取りましょう。

☐	WBGT値を下げるための設備、休憩場所の設置	準備期間に検討した設備、休憩場所を設置しましょう。休憩場所には氷、冷たいおしぼり、シャワー等や飲料水、塩飴などを設置しましょう。準備期間に検討した通気性の良い服装なども着用しましょう。	
☐	通気性の良い服装等	WBGT値が高いときは、 単独作業を控え 、WBGT値に応じて 作業の中止、こまめに休憩をとる などの工夫をしましょう。	
☐	作業時間の短縮	暑さに慣れるまでの間は 十分に休憩を取り、1週間程度かけて徐々に身体を慣らし ましょう。特に、 入職直後 や 夏季休暇明け の方は注意が必要です！	
☐	暑熱順化	暑さに慣れるまでの間は 十分に休憩を取り、1週間程度かけて徐々に身体を慣らし ましょう。特に、 入職直後 や 夏季休暇明け の方は注意が必要です！	
☐	水分・塩分の摂取	のどが渇いていなくても 定期的に水分・塩分 を取りましょう。	
☐	プレクーリング	休憩時間にも体温を下げる工夫をしましょう。	
☐	健康診断結果に基づく措置	①糖尿病、②高血圧症、③心疾患、④腎不全、⑤精神・神経関係の疾患、⑥広範囲の皮膚疾患、⑦感冒、⑧下痢 などがあると熱中症にかかりやすくなります。医師の意見をきいて人員配置を行いましょう。	
☐	日常の健康管理など	前日はお酒を飲みすぎず、よく休みましょう。また、当日は朝食をしっかり取るようにしましょう。熱中症の具体的な症状について理解し、熱中症に早く気付くことができるようにしましょう。	
☐	作業中の作業者の健康状態の確認	管理者はもちろん、作業員同士お互いの健康状態をよく確認しましょう。特に、入職直後や夏季休暇明けの作業員に気を配りましょう。	

STEP 3

熱中症予防管理者等は、WBGT値を確認し、巡視などにより、次の事項を確認しましょう。

- ☐ WBGT値の**低減対策**は実施されているか
- ☐ WBGT値に応じた**作業計画**となっているか
- ☐ 各作業者の**体調**や**暑熱順化の状況**に問題はないか
- ☐ 各作業者は**水分**や**塩分**をきちんと取っているか
- ☐ 作業の**中止**や**中断**をさせなくてよい

□ 異常時の措置

- ～少しでも異変を感じたら～
- ・いったん作業を離れ、休憩する
 - ・病院へ運ぶ、または救急車を呼ぶ
 - ・病院へ運ぶまでは一人きりにしない

重点取組期間（7月1日～7月31日）

- ☐ 実施した対策の効果を再確認し、必要に応じ追加対策を行いましょう。
- ☐ 特に梅雨明け直後は、WBGT値に応じて、作業の中断、短縮、休憩時間の確保を徹底しましょう。
- ☐ **水分、塩分**を積極的に取りましょう。
- ☐ 各自が、睡眠不足、体調不良、前日の飲みすぎに注意し、当日の朝食はきちんと取りましょう。
- ☐ 期間中は熱中症のリスクが高まっていることを含め、重点的に教育を行いましょう。
- ☐ **休憩中の状態の変化**にも注意し、少しでも異常を認めたときは、**ためらうことなく病院に搬送**しましょう。

梅雨明け



福島労働局発表

Press Release

令和4年5月31日

【照会先】

福島労働局職業安定部職業安定課

課長 井関 義浩

課長補佐 菅野 茂

地方職業指導官 武田 恵

電話 024-529-5396 (直通)

報道関係者 各位

令和4年3月新規大学等卒業者の就職内定状況

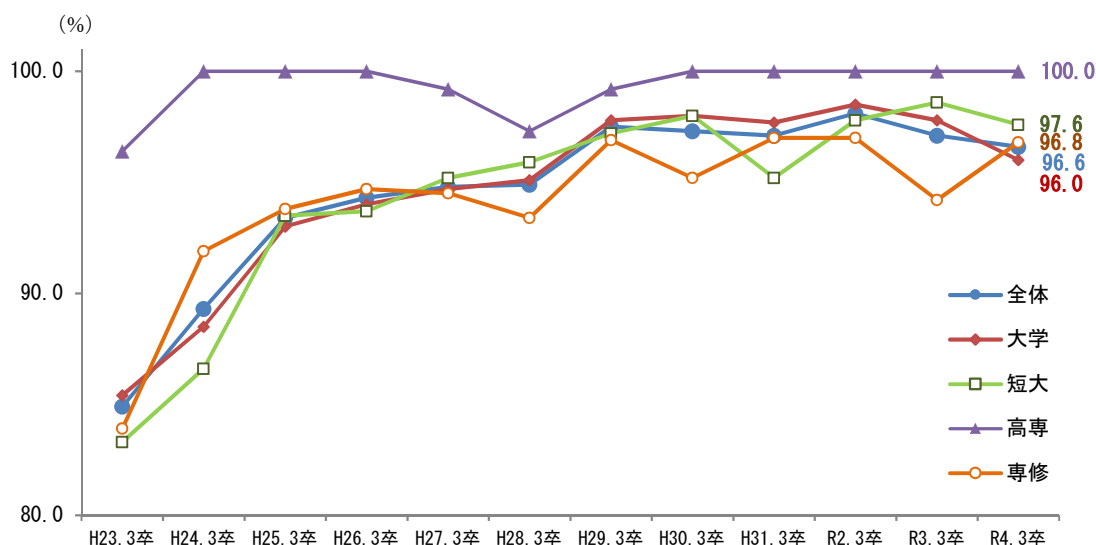
～過去24年間で6番目に高い就職内定率～

福島労働局（局長 河西 直人）は、令和4年3月に福島県内の大学等を卒業する学生について、令和4年3月末現在における就職内定状況を取りまとめました。

【就職内定率等】

◎ 大学等計	96.6%	（前年同期比 0.5ポイント減）
○ 大学	96.0%	（同 1.8ポイント減）
○ 短期大学	97.6%	（同 1.0ポイント減）
○ 高等専門学校	100.0%	（同 同数値）
○ 専修学校	96.8%	（同 2.6ポイント増）

就職内定率（各年3月末現在）



※本データは福島労働局管内の大学等の協力により、学生からの報告等によって可能な範囲で把握した数字を取りまとめたものです。報告のない学生は未内定として計上している場合があります。

※新規高卒者の職業紹介状況に使用しているデータとは集計の方法が異なります。

1 令和4年3月大学等卒業者の就職内定状況

令和4年3月末現在
福島労働局

区分・年度		卒業予定 者数(人) (a)	就職希望者数(人)			就職内定者数(人)			内定率(%)			未内定者 数(人) (b-e)
			計 (b)	うち県内 (c)	うち県外 (d)	計 (e)	うち県内 (f)	うち県外 (g)	計 (e/b)	県内 (f/c)	県外 (g/d)	
合計	04.3卒	5,555	4,377	2,339	2,038	4,227	2,256	1,971	96.6	96.5	96.7	150
	03.3卒	5,522	4,473	2,384	2,089	4,343	2,322	2,021	97.1	97.4	96.7	130
	前年同期比 (%) (point)	0.6	▲ 2.1	▲ 1.9	▲ 2.4	▲ 2.7	▲ 2.8	▲ 2.5	▲ 0.5	▲ 0.9	0.0	15.4
大学	04.3卒	3,160	2,502	1,002	1,500	2,403	964	1,439	96.0	96.2	95.9	99
	03.3卒	3,107	2,584	1,018	1,566	2,527	1001	1,526	97.8	98.3	97.4	57
	前年同期比 (%) (point)	1.7	▲ 3.2	▲ 1.6	▲ 4.2	▲ 4.9	▲ 3.7	▲ 5.7	▲ 1.8	▲ 2.1	▲ 1.5	73.7
短大	04.3卒	745	629	489	140	614	477	137	97.6	97.5	97.9	15
	03.3卒	794	696	535	161	686	528	158	98.6	98.7	98.1	10
	前年同期比 (%) (point)	▲ 6.2	▲ 9.6	▲ 8.6	▲ 13.0	▲ 10.5	▲ 9.7	▲ 13.3	▲ 1.0	▲ 1.2	▲ 0.2	50.0
高専	04.3卒	224	117	26	91	117	26	91	100.0	100.0	100.0	0
	03.3卒	223	115	29	86	115	29	86	100.0	100.0	100.0	0
	前年同期比 (%) (point)	0.4	1.7	▲ 10.3	5.8	1.7	▲ 10.3	5.8	0.0	0.0	0.0	-
専修	04.3卒	1,426	1,129	822	307	1,093	789	304	96.8	96.0	99.0	36
	03.3卒	1,398	1,078	802	276	1,015	764	251	94.2	95.3	90.9	63
	前年同期比 (%) (point)	2.0	4.7	2.5	11.2	7.7	3.3	21.1	2.6	0.7	8.1	▲ 42.9

2 大学等内定率の推移(各年3月末)

卒業年	全体		大学		短大		高専		専修	
		対前年 同期比		対前年 同期比		対前年 同期比		対前年 同期比		対前年 同期比
11.3卒	78.8	-	75.3	-	76.0	-	100.0	-	91.5	-
12.3卒	81.8	3.0	76.0	0.7	83.9	7.9	91.3	▲ 8.7	94.1	2.6
13.3卒	84.5	2.7	81.9	5.9	81.3	▲ 2.6	100.0	8.7	93.7	▲ 0.4
14.3卒	81.9	▲ 2.6	79.6	▲ 2.3	78.0	▲ 3.3	100.0	0.0	90.8	▲ 2.9
15.3卒	84.5	2.6	85.0	5.4	77.9	▲ 0.1	92.9	▲ 7.1	89.5	▲ 1.3
16.3卒	82.7	▲ 1.8	79.4	▲ 5.6	80.3	2.4	100.0	7.1	90.0	0.5
17.3卒	83.7	1.0	79.4	0.0	82.1	1.8	100.0	0.0	90.7	0.7
18.3卒	87.5	3.8	84.0	4.6	85.4	3.3	98.9	▲ 1.1	93.8	3.1
19.3卒	90.0	2.5	88.9	4.9	88.8	3.4	95.9	▲ 3.0	92.9	▲ 0.9
20.3卒	92.1	2.1	92.1	3.2	90.1	1.3	100.0	4.1	93.2	0.3
21.3卒	89.3	▲ 2.8	91.4	▲ 0.7	88.9	▲ 1.2	99.1	▲ 0.9	84.3	▲ 8.9
22.3卒	88.0	▲ 1.3	87.8	▲ 3.6	87.8	▲ 1.1	99.0	▲ 0.1	87.8	3.5
23.3卒	84.9	▲ 3.1	85.4	▲ 2.4	83.3	▲ 4.5	96.4	▲ 2.6	83.9	▲ 3.9
24.3卒	89.3	4.4	88.5	3.1	86.6	3.3	100.0	3.6	91.9	8.0
25.3卒	93.4	4.1	93.0	4.5	93.5	6.9	100.0	0.0	93.8	1.9
26.3卒	94.3	0.9	94.0	1.0	93.7	0.2	100.0	0.0	94.7	0.9
27.3卒	94.8	0.5	94.7	0.7	95.2	1.5	99.2	▲ 0.8	94.5	▲ 0.2
28.3卒	94.9	0.1	95.1	0.4	95.9	0.7	97.3	▲ 1.9	93.4	▲ 1.1
29.3卒	97.5	2.6	97.8	2.7	97.2	1.3	99.2	1.9	96.9	3.5
30.3卒	97.3	▲ 0.2	98.0	0.2	98.0	0.8	100.0	0.8	95.2	▲ 1.7
31.3卒	97.1	▲ 0.2	97.7	▲ 0.3	95.2	▲ 2.8	100.0	0.0	97.0	1.8
2.3卒	98.1	1.0	98.5	0.8	97.8	2.6	100.0	0.0	97.0	0.0
3.3卒	97.1	▲ 1.0	97.8	▲ 0.7	98.6	0.8	100.0	0.0	94.2	▲ 2.8
4.3卒	96.6	▲ 0.5	96.0	▲ 1.8	97.6	▲ 1.0	100.0	0.0	96.8	2.6

※本データは平成10年度(11.3卒)から取りまとめを行っております。